

岩手県や宮城県で、非営利組織（NPO）が、被災した中学3年生などに無償で受験指導をしている。生徒や保護者からはありがたがられているが、場所の確保が課題になっている。

NPOカタリバ（東京）は岩手県大槌町に大槌臨学舎を設立。週6日の放課後、上町ふれあいセンターと町立吉里吉里中で塾講師らが約90人を指導している。仮設住宅で暮らす大槌中の山崎優斗君（15）は「仮設だと狭いし、自分の部屋もない。

苦手の指導を受ける（岩手県大槌町で）塾講師からの中3受験生（岩手県大槌町で）増田政幸撮影

受験生応援「無料塾」

被災地にNPO続々

「ここの勉強もはかどるし、先生の教え方もわかりやすい」と感謝する。講師で、地元でも手助けしたい」と話す。

宮城県石巻市内で活動しているNPO「希望の木プロジェクト」（東京）も石巻専修大の教室で受験対策講座を開いており、1300人の生徒が通っている。県内の塾講師経験者3人と、東京の講師3人の計6人で指導。長野市の学習塾と大手通信企業の協力

「要望多いのに…場所足りない」

試が終わる3月9日まで、その後の場所は見つかっていない。希望の木プロジェクトの今野俊晴代表は「生徒や保護者から要望が多いのに場所がない」と話す。宮城県女川町内でも活動しているカタリバの担当者も「ほかの地域でも子どもたちを支援したい」と協力を求めている。いずれの団体も多くの子どもを収容できる施設として学校が最適と考えているが、被災地の教育委員会は「施設の開放は警備上制約がある」としているケースもあり、場所の確保が難しいのが現状だ。

スポーツマン 元気くれた！

福島でイベント

五輪経験者と玉入れ、リレー

「フェスタ」（日本オリピック委員会主催、読売新聞社など協力）が22日、福島県猪苗代町のスキー場「リ



に遊べて面白かった」とうれしそうだった。

福島出身の中畑監督 児童に熱血野球指導

*南相馬

福島県出身でプロ野球・横浜DeNAベイスターズの中畑清監督らによる野球教室が22日、同県南相馬市で開かれ、小学生43人が熱血指導を受けた。南相馬市少年野球連盟などが主催。

榎葉町の警戒区域 復興計画委が視察

福島

原発事故で大半が警戒域に指定されている福島県榎葉町で22日、町の復興

北米への荷物が詰め込まれたコンテナ船（22日、仙台市宮城野区の仙台塩釜港で）